

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ナプテスコ(株)浜松工場 特殊処理棟	階数	地上2F
建設地	静岡県浜松市北区都田町11140外1	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2023年8月3日
敷地面積	54,831 m <sup>2</sup>	作成者	中山 憲昭
建築面積	4,821 m <sup>2</sup>	確認日	2023年8月3日
延床面積	5,281 m <sup>2</sup>	確認者	福島 由希子



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	金属熱処理工場で危険物一般取扱所に該当する。動線計画、セキュリティ計画等、施設の使い勝手と生産性の向上を図り、合理的な建築・設備システムを構築している。	その他 0
Q1 室内環境	窓の遮音等級をT-2相当とし室内音環境の向上を図っている。建物の熱負荷を低減させるため、外壁に断熱サンドイッチパネル、屋根にダブル折版、窓にLow-E複層ガラスを採用。	Q3 室外環境(敷地内) 色彩に配慮し、建物の壁面位置や外装計画など周辺のまちなみや風景に調和させる計画としている。
LR1 エネルギー	高効率空調機やLED照明を採用することで設備システムの高効率化を図った。	LR3 敷地外環境 ゴミの量を推計し分別回収を推進することで、ゴミを減量化し廃棄物処理負荷の抑制に努めている。
Q2 サービス性能	片側コアを採用することで1フロアを広く利用できる平面計画とした。BIMを活用し、事前検証を実施。	
LR2 資源・マテリアル	自動水栓に加えて節水型便器を採用し、水資源の保護に努めている。汚染物質の使用回避のため、化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建築材料などを採用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ナプテスコ(株)浜松工場 特殊処理棟	階数	地上2F
建設地	静岡県浜松市北区都田町11140外1	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2023年8月3日
敷地面積	54,831 m <sup>2</sup>	作成者	中山 憲昭
建築面積	4,821 m <sup>2</sup>	確認日	2023年8月3日
延床面積	5,281 m <sup>2</sup>	確認者	福島 由希子



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 78%

③上記+②以外の 78%

④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

3(保健) 2.5

4(教育) 2.5

5(ジェンダー) 2.5

6(水・衛生) 2.5

7(エネルギー) 2.1

8(経済・雇用) 1.9

9(イノベーション) 2.7

11(都市) 2.1

12(生産・消費) 2.2

13(気候変動) 2.2

15(陸上資源) 1.8

17(実施手段) 2.1

\*SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア= 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア= 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	金属熱処理工場で危険物一般取扱所に該当する。動線計画、セキュリティ計画等、施設の使い勝手と生産性の向上を図り、合理的な建築・設備システムを構築している。	その他 0
Q1 室内環境	窓の遮音等級をT-2相当とし室内音環境の向上を図っている。建物の熱負荷を低減させるため、外壁に断熱サンドイッチパネル、屋根にダブル折版、窓にLow-E複層ガラスを採用。	Q3 室外環境(敷地内) 色彩に配慮し、建物の壁面位置や外装計画など周辺のまちなみや風景に調和させる計画としている。
LR1 エネルギー	高効率空調機やLED照明を採用することで設備システムの高効率化を図った。	LR3 敷地外環境 ゴミの量を推計し分別回収を推進することで、ゴミを減量化し廃棄物処理負荷の抑制に努めている。
Q2 サービス性能	片側コアを採用することで1フロアを広く利用できる平面計画とした。BIMを活用し、事前検証を実施。	
LR2 資源・マテリアル	自動水栓に加えて節水型便器を採用し、水資源の保護に努めている。汚染物質の使用回避のため、化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建築材料などを採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	ナブテスコ(株)浜松工場 特殊処理棟	BEE	1.5	BEEランク	A	★★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	4.0	/5		よい		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.1	/5		ふつう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.3	/5		がんばろう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.6	/5		がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上		ふつう 3 点以上	
				がんばろう 3 点未満		

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点	<b>4.0</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>③窓にブラインドを設置。</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦BPlm=0.67。</li> </ul> </li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑪節水型便器の採用。</li> <li>⑬PRTR法に該当しない建材を4つ以上採用。</li> </ul> </li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦BPlm=0.67。</li> </ul> </li> </ul>	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑪節水型便器の採用。</li> <li>⑬PRTR法に該当しない建材を4つ以上採用。</li> </ul> </li> </ul>	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点	<b>3.1</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点	<b>2.3</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑲街並みに配慮し、本計画周囲に植栽を計画することで良好な景観を形成している。</li> </ul> </li> </ul>	Q-3 3 3.1	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点	<b>2.6</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑲生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/㉑敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑲舗装範囲は必要最低限にて計画。</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (⑲持続可能な森林から産出された木材/⑲温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	Q-3 1 2 3 3.2 LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑲ 生物環境の保全と創出 ⑲ まちなみ景観への配慮 ⑲ 敷地内温熱環境の向上 ⑲ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 温熱環境悪化の改善	